

新源氏物語（上）

眠られぬ夏の夜の空蟬の巻 9

生きすだま飛ぶ闇の夕顔の巻 29

あけぼのの春ゆかりの紫の巻 61

露しとど廃苑の末摘花の巻 88

燃ゆる紅葉のもと人は舞うの巻 105

花は散るおぼろ月夜の宴の巻 128

めぐる恋ぐるま葵まつりの頃の巻 140

秋は逝き人は別るる賢木の宮の巻 181

ほととぎす昔恋しき花散る里の巻 226

海はるか心づくしの須磨の巻 232

憂くつらき夜を嘆き明石の人の巻 269

侘びぬればはかなき恋に濡標の巻 302

露しげき蓬生に変らじの心の巻 336

古き恋にめぐり逢坂の関屋の巻

359

春の梅壺に風流をきそう絵合の巻

365

久しき別れに松風のみ空を通うの巻

382

入日の峰に薄雲は喪の色の巻

401

恋の夏すぎであるかなきかの朝顔の巻

433

初恋は空につれなき雲井の少女の巻

455

恋のわすれがたみ日蔭の玉鬘の巻

504

幼なうぐいすの初音惜しまじの巻

543

春の夜の夢に胡蝶は舞うの巻

554

恋の闇路にほのかなる蛍の巻

571

常夏の夕映えに垣根なつかしき撫子の巻

587

野分の風に垣間見し美しき人の巻

606

雪ちる大原野にめでたき行幸の巻

618

露じめりして思いみだる藤袴の巻

631

愛怨の髪まつわる真木柱の巻

638

花散りし梅が枝に残る匂いの巻

680

藤のうら葉は色も褪せじの恋の巻

691

君がため若菜つも恋の悲しみの巻

714